

こいしわらがわ
小石原川ダム(試験湛水中)が
下流河川の水位低減に寄与しました

独立行政法人水資源機構が管理する筑後川水系小石原川の小石原川ダム（福岡県朝倉市）の流域では、令和2年7月豪雨により、7月5日18時から8日3時までの総雨量が607mmを記録し、平成29年7月九州北部豪雨を上回る降雨となりました。

この洪水に対して、試験湛水を実施している小石原川ダムでは、計画規模を上回る最大流入量毎秒約197立方メートルを観測し、ダムに約1,000万立方メートルを貯留しました。

この結果、小石原川ダムの下流約22kmにある^{さかえだばし}栄田橋水位観測所では、ダムが無かった場合に比べて、河川水位を約0.65m低減する効果があったと推定されます。

今回の発表は速報値であり、数値等は今後の調査により変わることがあります。



令和2年7月15日

独立行政法人^{みずしげんきこう}水資源機構 筑後川局

配布先	
国土交通省九州記者会	九州建設専門記者クラブ
久留米市政記者クラブ	佐賀県政記者クラブ
西日本新聞朝倉支局	読売新聞筑紫支局
毎日新聞福岡南支局	朝日新聞太宰府支局

問い合わせ先	
独立行政法人水資源機構 筑後川局	総務課長 中山 企画調整課長 前田
住所	: 福岡県久留米市東町4-2-21
電話	: 0942-34-7001

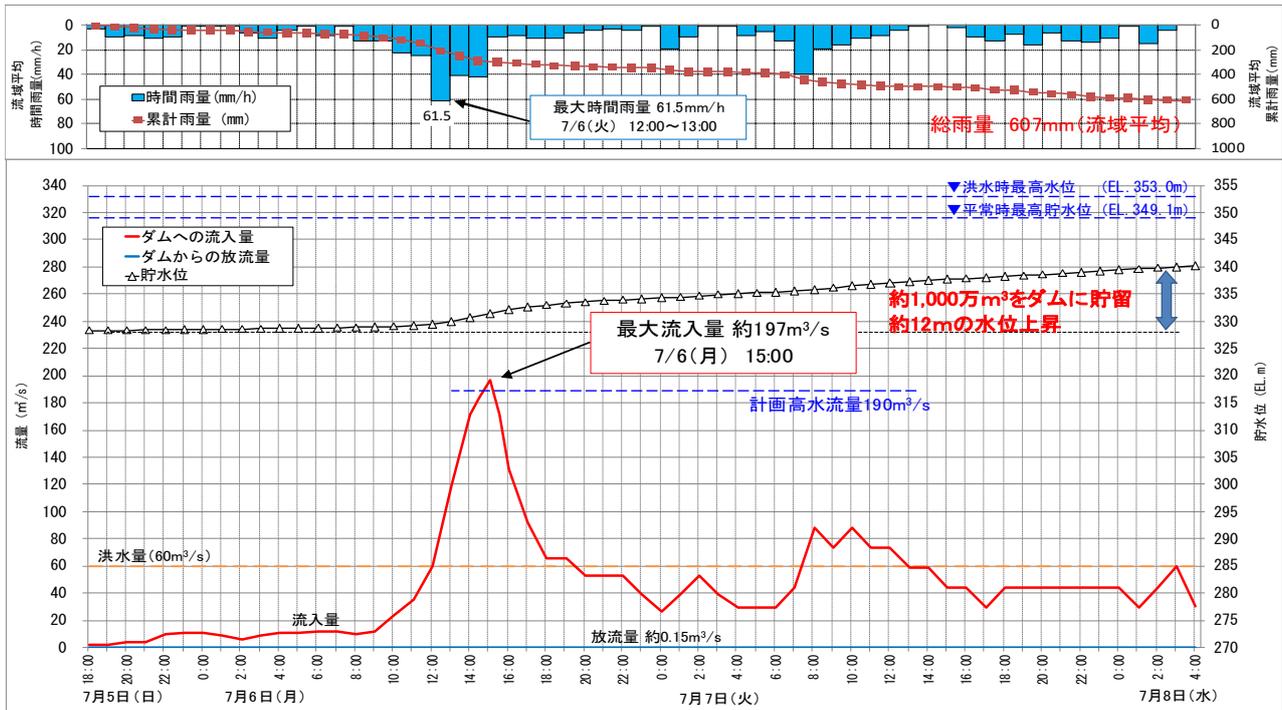
小石原川ダム位置図

福岡県朝倉市江川 地先

※筑後川中流部（河口から約40km地点）に流入する小石原川の約25km地点



小石原川ダム貯留状況図



※今回の豪雨は、平成29年7月九州北部豪雨を上回る規模となっています。

令和02年7月 降り始めからの24時間雨量316mm 総雨量607mm

平成29年7月 降り始めからの24時間雨量296mm 総雨量296mm

貯水池状況写真

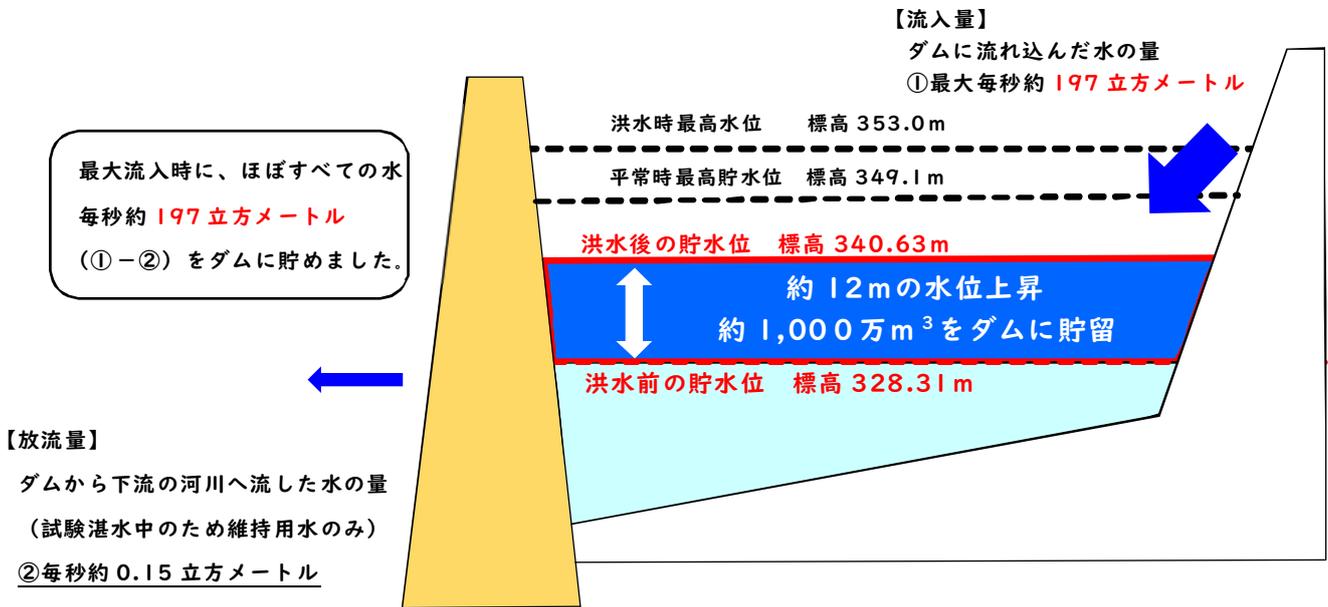
洪水前貯水位 7月5日 標高約 328m



洪水後貯水位 7月7日 標高約 340m

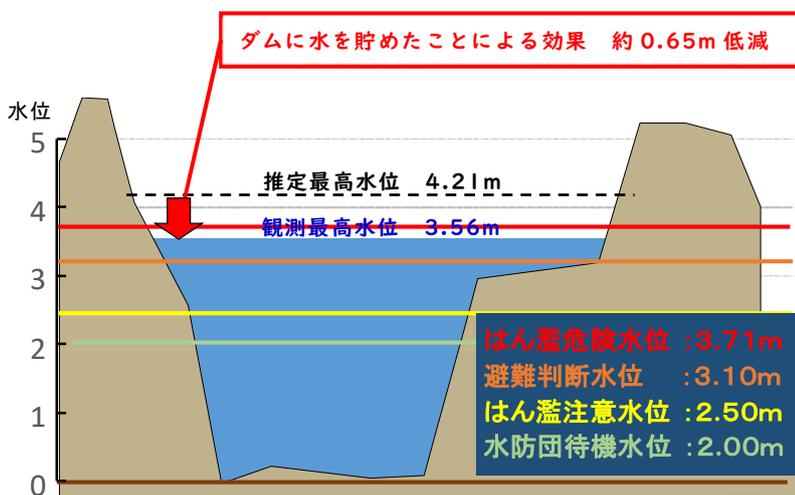


試験湛水中の状況



※今回の発表は速報値であり、今後の調査により数値等が変わることがあります。

ダム下流河川の水位低減効果



栄田橋水位観測所における、ダムに流れ込む水を貯めて川の水を減らしたことによる効果

① ダムがなかった場合

推定最高水位 4.21m

※推定最高水位には誤差が含まれます。

②ダムに流れ込む水を貯めたことによる河川水位

観測最高水位 3.56m

ダムに水を貯めたことによる効果 (①-②)

栄田橋河川水位観測所付近の河川水位を約 0.65m 低減させています。

※この数値は速報値です。